

第3回 熊本市都市マスタープラン策定委員会 議事要旨

開催日時

平成29年3月28日(火) 10:00~11:30

開催場所

熊本市役所 議会棟2階 予算決算委員会室

出席委員 7名

両角委員長、相藤委員、上山委員、佐藤委員、田中委員、本間委員、松田委員
(欠席者:原委員)

次第

1 開会

2 議事

第2回会議を踏まえた修正事項について
その他

3 閉会

配布資料

1 次第

2 資料1

3 資料2

4 参考資料

5 その他

議事要旨

<事務局から、議事 「第2回の会議を踏まえた修正事項」について説明を行った>

1. 人口密度の維持について

(相藤委員)

人口密度の維持について、現在西部に比べ東部の人口が増えてきており、人口分布が東部に偏ってきていると思うが、この点について触れなくてもよいか？

(事務局)

本市では、居住誘導区域を設定しており、その区域については今後人口減少下においても、人口密度を維持していくこととしている。地区毎に居住誘導区域の人口を見れば偏りがあるが、ここでの人口密度は、市全体の居住誘導区域で設定している。今後、都市マス(地域別構想)についても見直しを予定しており、その中で整理していきたい。

2. 市街化調整区域の整備について

(本間委員)

現在、市街化調整区域においても、地区計画等の手続きを踏めば住宅整備が行える状態である。市街地の拡大については今後抑制していくべきだと考えられるが、都市マスにおいて、市街化調整区域に対する整備や開発等の考え方や方針についてどのように記載してあるのか？

多核連携都市といいながらも、地区計画等の活用により市街地が拡大していることについて、都市マスや総合計画と本当に齟齬がないのか。市街化調整区域の集落内開発制度や地区計画について、具体的な事は記載できなくても、今後の方向性や見直しの必要性等の記載をしておいた方がいいのではないか。

(事務局)

土地利用の方針の中で「市街化調整区域等の土地利用の方針」について記載しているところであり、その中では、生活環境の向上やコミュニティの維持・活性化を図るため、集落内開発制度や、地区計画による秩序ある計画的な土地利用について記載しているところである。

どこかのタイミングで見直す必要はあると考えているが、そのタイミングについては県の区域マスタープラン等も踏まえ、改めて検討する必要がある。

(両角委員長)

都市マスは熊本市の計画ではあるが、同時に熊本都市計画区域の枠組みの中で動いている。見直し議論については、熊本都市計画区域全体で議論していく必要があり、現段階で都市マスの中に明示することは難しいと考えられる。

3. 市民の災害対応力の強化について

(松田委員)

熊本大学や熊本県立大学等では、防災リーダーの育成プログラムに取り組んでおり、受講した人たちが熊本市にも多く就職している。そういった防災意識の高い人たちの情報や、その人達たちとのネットワークを構築しておく必要がある。そういった意識の高い人たちに、防災に関する情報を伝える必要がある。そのため、市民の災害対応力の強化の部分に、防災リーダーの育成や、そのネットワークの構築について記載した方がよい。

防災の観点から、居住の誘導について記載した方がよい。

(事務局)

了解した。ご意見を踏まえ記載内容について検討したい。

災害にも強い都市基盤の形成の中で、災害危険区域や土砂災害特別警戒区域等内の安全な場所への住み替え等について記載しているところである。また、災害リスクを踏まえた居住地の選択が可能となるよう、積極的に市民への情報提供についても記載しているところである。

4. 文言の整理について

(田中委員)

資料2のP95項「災害に強い都市基盤の形成」について、文章が分かりにくいので整理した方がよい。

(佐藤委員)

資料2のP15項「交流人口の増加」について、MICEの記載があるが、用語の解説が必要である。

(事務局)

了解した。ご意見を踏まえ記載内容について検討したい。

5. 空き家対策について

(両角委員長)

資料2の78頁「地域性を活かした住まいづくり」について、「空き家化の予防に努める」との記載があるが、「空き家の活用策、空き家の放置の防止等」の表現の方がいいのではないか。

また、空き家対策についての記載をもう少し盛り込んだ方がよい。

(事務局)

了解した。ご意見を踏まえ記載内容について検討したい。

6. 避難所について

(本間委員)

資料2の87頁「その他の都市施設の整備方針」の部分に避難所について記載されているが、避難所は施設ではなく機能である。その他の施設が災害時に避難所としての機能を持つものであり、都市施設の整備方針の中に避難所を記載するのに違和感がある。避難所については、都市防災の方針に記載しておく必要がある。

災害弱者等へ対応できる福祉避難所についての記載が必要である。また、避難所の多様化や適正化についても記載した方がよい。

避難所の盗難防止等のセキュリティー面についても少し記載した方がいいのではないか？

(事務局)

了解した。ご意見を踏まえ記載内容について検討したい。

7. 多言語対応について

(上山委員)

多言語対応の防災メールについての記載はあるが、防災メールは登録しないと情報を取得できないため、外国人観光客等へ対応できるように、ホームページやSNS等の多言語化についても記載した方がよい。

(事務局)

了解した。ご意見を踏まえ記載内容について検討したい。

8. その他について

(両角委員長)

資料2の104頁「近隣市町との合併の場合」について、近隣市町村との合併の場合に都市マスタープランを見直すとの記載があるが、これは、植木・城南・富合との合併を控えていたため記載している文章だと考えられるため、削除していいのではないか。

資料2の14頁「大学立地状況」の図版について、熊本大学は学部別で記載してあるが、キャンパス名で記載した方がいいのではないか？

資料2の26頁「大型商業施設などの立地状況(昭和40年以降)」の図版について、題名が分かり難いので「新規立地状況」等の表現に変更した方がいいのではないか？

資料2の33頁「活断層位置」の図版について、断層帯の表記が「布田川・日奈久断層帯」との記載があるが、布田川と日奈久は別々の断層帯であるため、分けて表記した方がよい。

(事務局)

了解した。ご意見を踏まえ記載内容について検討したい。

<事務局から、議事「その他」について説明を行った>

13. 次回会議について

(事務局)

- ・ 5月下旬ごろに第4回策定委員会を開催する予定。本日の会議後に、お気づきの点があれば、4月14日までに都市政策課へお知らせいただきたい。

以上